

1. 質的調査の方法

(1) 観察

例：施設を利用する高齢者の動きを観察する

目視（目で見ること）でもいいし、動画や写真を利用してもいい

ちょっと紹介「ビジュアル観察法」

写真やポスターなどを多数比較して、意味や意味の変化などをさぐる

元気な高齢者のイメージ



病気の高齢者のイメージ



(2) 参与観察

例：老人ホームでボランティアをしながら、高齢者と家族の関係を調査

暴走族のことを知るために暴走族といっしょに行動する

(3) インタビュー（面接）

・個人面接 グループ面接

・自由連想法、制限連想法など、いろいろな聞き方がある

・構造化インタビュー（質問が決まっています、順番も変えない）

半構造化インタビュー（順番などは変えてもいい）

非構造化インタビュー（自由に話してもらおう）

(4) 自記式の自由記述

インタビューと似ているが対象者に直接書いてもらう

例：アンケートの自由記述意見

(5) ケーススタディ (事例調査)

・そのケース(事例、対象者)について、ケースや関係者へのインタビュー、カルテ、生活歴、ケース会議内容など、様々な資料を合わせて調査する

ケーススタディは、分野によって様々な意味で使われているので注意

また「ケース検討」は、実際の援助のために事例(ケース)を複数の人で検討すること

(6) 福祉業務記録の分析 (社会福祉ではこれも重要)

・生活保護の記録などを調査のソース(原資料)とする

(7) アクションリサーチ (社会福祉ではよく使われる)

・参与観察よりもっと積極的に、新しい援助手法などを実際に行いながら、観察する

(8) その他

例：実際に体験して調査する

黒人や高齢者の状況を知るために、特殊メイクなどで黒人や高齢者になって調査する。

2. 質的調査方法の注意点

(1) ラポールとオーラポール

(2) 方法だけでは、質的調査か量的調査かは分けられない また分離できない場合もある

観察でも、通行人の量を量るのは、量的調査

インタビューでも、話した言葉の量を量るときは量的調査

3. 質的調査の分析方法のいろいろ

(1) 自由意見の分析

面接やアンケートによる自由意見は、被面接者(面接を受ける人 インタビューイ)や回答

しゃ もっと い
者が最も言いたいことや、面接者(インタビュー)や質問者が仮説を立てていたキーワードなどで分類する。

(2) 内容分析(テキスト分析)

例: 政治家の発言のある言葉の量を量ったり、よく使うキーワード

(例えば「成長」「持続」など)の言葉の数量を量る

広告で繰り返し伝えられることなどの分析

画像や建物の分析(例 建築で豪華な高い塔が多く、高貴さを誇示しているなど)

(3) 会話分析(エスノメソドロジー)

- ・言葉だけでなく、態度や行為、間合いなども合わせて観察、計量して分析する
- ・「エスノグラフィー」と言葉が似ているので注意

例: 病院での医師と患者の関係

患者は話すことができずに、医師だけが話している

- ・外国人と日本人が日本語で話すとき
日本人の方が、会話の割り込みが多い

(4) 生活史(ライフヒストリー)

時間をたどって、変化なども合わせてみていく

- ・本人やまわりの人のインタビュー
- ・引越歴、就業歴、結婚歴、時代の様子などのデータも合わせて用いる

(5) ケーススタディ、アクションリサーチなどの分析

- ・時系列に記録などを整理しながら、成果や変化、キーになることなどを分析

(6) グラウンディッドセオリー

- ・後でくわしく紹介

なぜ、質的調査があるのか、色々な分析手法があるのか?

ただ「こんな話があった」というだけでなく、科学的に証拠づけられた説明をするため

社会調査法 第9回

1. 質的調査

DVDを見て、どのような方法で、どのような情報を得ているのか、考えてみましょう。

(1) 観察(その場や設備、相手の行動を見る)

- ・ 駅の設備の動き
- ・ 利用者の動き

(2) インタビュー(面接して相手の意見を聞く)

- ・ あいさつ 目的の説明
- ・ 質問
- ・ 確認
- ・ メモ

参考ホームページ:「社会調査工房オンライン」面接法や観察法
<http://kccn.konan-u.ac.jp/sociology/research/index.html>